

2010年度までの環境行動計画と2008年度の成果

リコーグループ16次環境行動計画（2008年度～2010年度） ※ 達成目標年度の記載がないものは2010年度が目標。

1

資源循環型社会に向けた資源の有効利用

1) 環境負荷削減を目指した環境技術開発 19ページ

・事業および社会全般の環境負荷削減に貢献する環境技術開発を行う

2) 製品への新規投入資源の削減に向けた資源循環の拡大と資源の有効利用 24ページ

① 部品リユースの促進

・使用済み製品からのリユース部品使用量を2010年度までに1,910トンに向上（日本）

・使用済み製品からのリユース部品使用量を2010年度までに6,000トンに向上（海外）

② PCMR（プラスチック・クローズド・マテリアル・リサイクル）の促進（日本）

・再生プラスチック使用量の2010年度目標の達成。2010年度目標：750トン

③ 使用済み製品の資源循環量の拡大（海外）

・使用済み製品の資源循環量（再使用量+再資源化量）を2010年度までに16,000トンに向上

④ バイオマス樹脂の製品への活用

・バイオマストナーの製品化

3) 生産活動にともない発生する排出物の削減 38ページ

① サーマルメディア事業における資源ロスの削減

・排出物発生量を2006年度比10%削減

② 包装材に関する資源ロスの削減

・国内画像製品生産に関する生産量あたり包装材排出物発生量を2006年度比30%削減

③ 重合トナー製造にともなう排出物発生量の削減

・生産量あたり排出物発生量を2007年度比17%削減

2

気候変動問題に対する先行的な環境技術開発と、エネルギー使用を抑えた事業活動の促進

1) 省エネルギー技術開発の推進 19ページ

・事業および社会全般の環境負荷削減に貢献する製品省エネルギー、生産プロセス革新技術開発を行う

2) 製品の省エネ性能の向上 21ページ

① リコー省エネ目標の達成

3) 生産活動にともない排出する温室効果ガスの削減 33ページ

・2010年度までにCO₂排出量を1990年度比12%削減（リコーおよび国内生産会社）

・2010年度までにCO₂排出量を1998年度比10%削減（海外生産会社）

・2010年度までに半導体事業分野のCO₂以外の温室効果ガスを1995年度比10%削減

4) 非生産活動にともない発生する温室効果ガスの抑制 46ページ

・CO₂排出量を2006年度実績以下に抑制（リコーおよび国内非生産会社）

5) 物流にともない発生するCO₂排出量の削減 50ページ

・物量原単位で前年比1%以上改善

6) 仕入先企業へのCO₂排出量削減活動の展開 31ページ

7) お客様先での環境負荷削減への貢献 48ページ

① 省エネ・両面機能の活用状況の把握と利用率の向上

8) 社内での環境機能の利用促進 46ページ

省エネ機能の社内利用促進

3

環境安全性の高い製品づくり・事業活動に向けた化学物質管理の強化

1) 製品環境性能の向上 27ページ

① 化学エミッション低減対策の推進

・オゾン・粉じん・VOC類のリコー自主基準の遵守

2) 化学物質に関するリスクマネジメントの強化 42ページ

① グローバルでの化学物質リスクマネジメント体制の構築

② 環境影響化学物質の削減

・環境影響化学物質の使用量を2000年度比マイナス30%以下に抑制（リコー生産事業所および生産会社）

・環境影響化学物質の排出量を2000年度比マイナス80%以下に抑制（リコー生産事業所および生産会社）

③ 環境負債の推定と財務会計への反映

・連結決算対象会社の所有地において、PCBs・アスベストの環境負債が推定できている

・リコーグループとして、環境負債が財務会計に反映されている

3) 製品含有化学物質管理のレベルアップ 27ページ

① REACH規則への対応

・REACH規則への対応に必要な管理、情報伝達の仕組みの強化

4

生物多様性の保全

1) 地球環境の再生能力を高めるための生態系保全活動の推進 68ページ

進捗状況(2008年度実績)

- ▶ バイオマス樹脂などの代替材料の開発と小型・軽量化、長寿命化を可能にする技術開発を進めています。
- ▶ リユース部品使用質量の実績は1,735トンとなりました。
- ▶ リユース部品使用質量の実績は4,898トンとなりました。
- ▶ 再生プラスチック使用質量の実績は821トンとなりました。
- ▶ 資源循環量の実績は13,623トンとなりました。
- ▶ バイオマストナーの製品化に向け開発を進めています。
- ▶ 排出物発生量8.0%削減。
- ▶ 御殿場事業所8%削減。東北リコー6%増*。リコーエレメックス20%増*。 * 中国からの調達部品の比率増により08年度実績は増加したものの、2010年度30%の削減計画は積み上げることができました。
- ▶ 生産量あたり排出物発生量2.2%削減。
- ▶ 製品についてはさらなる省電力化が可能な技術開発、生産についてはさらなる熱利用効率の向上が期待できる技術開発に着手しました。
- ▶ 複写機、複合機、プリンターともに省エネ目標を達成した製品を発売しています。
- ▶ 排出総量9.6%削減。※ 年率4%を超える事業成長と電力換算係数変動によるCO₂増加分についてはCDMによる対応を前提としています。この考え方に基づき、リコープリンティングシステムズおよび山梨電子工業は事業成長分として扱われています。
- ▶ 排出総量：15次環境行動計画(2005～2007年度)と同じバウンダリでは9.6%削減。事業成長分(リコーサーマルメディア)を含めると2.7%増加。
- ▶ CO₂以外の温室効果ガスの排出量34%削減。
- ▶ 国内非生産会社排出総量5.1%削減。
- ▶ 輸送トンキロあたりのCO₂排出量、前年比6.2%改善。
- ▶ モデル仕入先を設定し、リコレットを活用したCO₂削減活動を仕入先と共同で展開しました。
- ▶ 省エネモードの活用率向上を目指しお客様先での提案活動を行いました。また国内では、製品使用時の環境負荷の見える化を通じた環境負荷削減提案活動を実施しました。
- ▶ リコー(16事業所)において、複写機・複合機をより効果の高い省エネモードに設定しました。2009年度は、リコー全グループで同様の省エネモード設定を実施していく予定です。
- ▶ 製品の環境影響化学物質排出については2007年1月施行のブルーエンジェル基準にも準拠できるよう対応し、2008年度発売の複写機、複合機およびプリンター、17シリーズの機種群においてオゾン、粉じん、VOC類のリコー基準を達成しました。
- ▶ リスクマネジメント評価の仕組みについて検討を進めるとともに、主要化学物質の使用・排出量を把握しました。
- ▶ 環境影響化学物質使用量2000年度比マイナス70%を達成しました。
- ▶ 環境影響化学物質排出量2000年度比マイナス80%を達成しました。
- ▶ 連結決算対象会社を対象に、PCBs・アスベストのリコーグループのグローバルレビュー調査を完了しました。その結果、環境債務(可能性としての債務などを含む)として34.6億円を算出しました。
- ▶ リコーグループの資産除去債務による影響を分析しました。
- ▶ リコーグループ全社においてREACH対応WG活動を実施し、共通運用規則・情報シート作成ガイダンスを発行するなど、対応に必要な体制・仕組みを構築しました。
- ▶ 国内外において生態系保全活動が活発に行われています。
[国内計541件]生産事業所・会社135件、販売会社371件、非生産事業所・会社35件
[海外69件]生産事業所・会社39件、販売会社30件